

平成 28 年度 春期 プロジェクトマネージャ試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨	
プロジェクトマネージャ（PM）には、プロジェクトの計画策定において、様々なリスクを想定し、その対応策を計画へ反映するプロアクティブな対応が求められる。	
本問では、プロジェクトへの要求事項や特性を把握した上で、リスクを考慮してどのように計画へ反映するか、機能の追加要求に対応することに伴うリスクをどのように把握し、個別リスクに対応するかについて、PM としてのリスク対応の基本的な知識、経験を問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	新たな業務プロセスを早期に検証してもらうこと	
設問 2	(1) 作業手順の間違いでプラントを停止させてしまうこと	
	(2) 日常点検の作業を実施しながら利用が可能であること	
	(3) 事務所に戻らずに作業を完了することができること	
	(4) タブレット端末の紛失や盗難による情報漏えい	
	(5) 入力間違いのデータが移行され、正しい点検票が表示されないこと	
設問 3	取引実績のない Z 社に対する管理負荷が高まること	

問 2

出題趣旨	
プロジェクトマネージャ（PM）は、ステークホルダのニーズと期待を満たすために、適切なコミュニケーション計画を立案し、その計画に則って、プロジェクトを適切に運営する必要がある。	
本問では、過去にコミュニケーションに関する問題を抱えたチームによるプロジェクトを題材として、ステークホルダとの情報共有や、プロジェクト内部のコミュニケーション計画の改善について、PM としての実践的な能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) a P 社が解釈した要求事項	
	(2) 要求事項一覧を定義するのは、A 社システム部の責任であること	
	(3) (2), (3), (5)	
設問 2	(1) b ・ 上流 ・ 要件定義 ・ 設計	
	(2) ・ P 社の検討状況を早い時点から開示して情報共有を図る。 ・ 早くから検討状況を開示し、顧客とともに問題解決を図る。	
設問 3	(1) c ・ チーム ・ メンバ全員	
	(2) ミーティングで発言しないメンバの意見も含めて、全員に認識してもらう。	
	(3) 問題を早期発見し対処することで、手戻りを最小にする。	

問3

出題趣旨	
プロジェクトマネージャ（PM）は、プロジェクトを構成する個々の作業の進捗状況を把握し、ボトルネックとなっている箇所を特定して対策を採る必要がある。 本問では、人事給与システムの設計・開発の外部設計における進捗管理を題材に、進捗状況の把握及び進捗遅延箇所に対する対応策の立案，潜在する品質リスクへの対応のためのテスト工程における施策の追加について，PM としての実践的な能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	人事外部設計チームは 4 週間経過時も EV が回復していないから		
設問 2	(1)	a 0.89	
	(2)	b 未決事項一覧表	
	(3)	D 社担当者が，システム化した処理方法のイメージを十分にもてていない状況	
	(4)	・ システム化した処理のデモンストレーション画面 ・ 詳細作業手順が分かるプロトタイプシステム	
	(5)	機能 4 の外部設計作業がクリティカルパスとなる状況	
設問 3	(1)	仕様の確定に手間取った箇所が正しく実現されていること	
	(2)	c 操作マニュアル	